

## 津波避難施設の整備に関する基本的考え方(素案)からの主な変更点(案)

地域の方々への説明会、津波避難施設の整備に関する検討委員会などのご意見等を踏まえた、素案からの主な変更点は次のとおりです。

### 1 計画の位置付けについて

#### (1) 関連計画等との関わりの追加 (P3, P4)

「仙台市実施計画」の関連箇所の抜粋提示や、「仙台市地域防災計画」との関わりについて必要な記載を行いました。

#### (2) 施設整備の計画期間等の見直しに関する考え方の追加 (P4)

今後の社会情勢等の変化により、方向性を見直しが必要になる場合には、仙台市実施計画等の中で検討していくことについて記載しました。

### 2 津波避難施設について

#### (1) 設備設置例の追加 (P13)

津波避難施設に求められる設備の具体的な設置例として、「トイレ」を記載しました。

#### (2) 緊急時の避難対策の追加 (P13)

緊急時は確実に避難できるような対策を講じることを記載しました。

### 3 避難道路について

#### (1) 施設の配置と道路ネットワークの設定の追加 (P17)

「3.2 避難道路の考え方」「3.3 施設整備の考え方」に基づいた避難施設と道路ネットワークの設定を図で示しました。

#### (2) 自動車の通行条件の追加 (P18)

避難行動シミュレーションで設定した避難時の通行条件と、通行条件を満たすために必要となる対策について表にまとめました。

### 4 避難時の移動手段(徒歩・自動車等)について

#### (1) 自動車避難者の明確化 (P10)

自動車避難が想定される避難者として、避難に配慮が必要な方を具体的に、「徒歩での避難が困難な方とその支援者など」と記載しました。

## (2) 円滑に避難するための考え方の追加 (P24, P25)

- 徒歩での避難が困難な方とその支援者などによる自動車避難割合の考え方については、あくまでも「目標」として設定していることを記載しました。
- 集落からの自動車避難の割合を変えた追加ケースを設定し、避難完了率に対する徒歩避難の有用性について再確認したことを記載しました。
- シミュレーション結果の捉え方について、実際に避難する際は、シミュレーションの設定よりも避難する際の通行条件が悪くなる可能性が高く、今回のシミュレーション結果よりも避難完了までに時間が掛かる可能性があることについて記載しました。
- 円滑に避難するため、災害情報の入手、地域主体の避難計画作成や避難訓練の実施等による避難ルールの定着を図ること、また、参考となる避難ルールの提示や避難訓練実施等への支援、地域の実情等を考慮した適切な避難施設や避難道路の整備などに取り組む重要性について記載しました。

## (3) 歩行者の安全確保に関する追加 (P38)

「シミュレーション結果から把握できる課題」および「シミュレーションの前提条件から想定される課題」として、歩行者が安全に避難するための課題を表に追加しました。

## 5 情報伝達について

### 「津波からの避難の手引き」(暫定版) 事項の整理 (P22)

「津波からの避難の手引き」(暫定版)について、市民が知っておくべき事項について整理するとともに、津波避難施設の整備等に合わせ、必要な改訂を行うことを記載しました。

## 6 地域による避難計画作成、避難訓練の実施について

### (1) 継続的な取り組みに関する記載の追加 (P23)

地域による避難計画作成と避難訓練実施について、円滑な避難を地域に定着させるため、継続的に行うことを記載しました。

### (2) 学校等との連携に関する記載の追加 (P23)

地域による避難計画作成と避難訓練実施について、地域だけでなく、企業、学校、家庭等と連携して取り組むことについて記載しました。

### (3) 地域の取り組みに対する行政の支援に関する記載の追加 (P23)

地域による避難計画作成と避難訓練実施について、参考となる避難ルールの提示や訓練等への支援を行うことについて記載しました。